

とき 伝統を受け継ぎ新たな歴史を刻む



写真提供：越中谷写真館

創立40周年

秋田西高新聞

発行所

秋田県湯上市天王
字 追分西 26-1
秋田県立秋田西高等学校
広報出版委員会
☎ 018-873-5251
印刷 (株)八郎湯印刷
☎018-875-4005

校章の由来

校章は、中心に校名の「西」をすえ、外側に県のシンボルである「鶴」を配し、緑の新鮮さを表わすとともに、教育方針（豊かな心、調和の姿、創造の道）を表わしている。
また、三本の「ペン」は知性・品性・体力に優れた健康で調和ある生徒の成長、発展を願ったものである。

40個の自慢

西高

全校生徒へのアンケートを 基に独自ランキング!!

第1位 生徒

- ・明るい
- ・人がいい
- ・ノリがいい
- ・優しい など

第2位 自然

- ・緑が多い
- ・カメムシ大量発生
- ・ハチに注意 など

第3位 食堂・購買

- ・おいしい
- ・種類が豊富
- ・カレー系のメニューが良い など

第4位 部活動

- ・女子ソフトテニス部が強い



購買の伊藤京子さん。
西高で働いて37年!

第5位 行事

- ・男子バスケット
- ・ボール部が強い
- ・全校応援ができる
- ・文化部も活躍できる
- ・スポ大も西高祭も盛り上がる
- ・楽しい
- ・今年は運動会も開催される

第6位 制服

- ・女子の夏服がかわいい
- ・珍しい
- ・派手
- ・二面で歴史を紹介しているのでチェック!

第7位 先生

- ・個性的
- ・フレンドリー
- ・生徒思い
- ・おもしろい
- ・授業が分かりやすい
- ・進路指導を丁寧にしてくれる

第8位 中庭

- ・きれい
- ・友達とお弁当を食べられる
- ・広い

第9位 あいさつ

- ・活発
- ・自主的
- ・気分がよくなる

第10位 校舎

- ・古いけれど大切に使用
- ・勉強
- ・やる気さえあれば?いくらでもがんばれる環境
- ・コンビニが近い
- ・これは便利
- ・地域貢献
- ・とにかく結びつきが強い

11 勉強

- ・12 体育館
- ・13 自動販売機
- ・14 上から見られるのもよい
- ・15 面白い!!それに尽きる

16 下駄箱

- ・17 生徒会
- ・18 敷地が広い
- ・19 追分の地でのびのびと子どもたちに癒される
- ・20 図書室
- ・21 落ちつきます。蔵書も多い
- ・22 OOB・OGとの交流
- ・23 見守りが心強い
- ・24 校歌
- ・25 作詞 分銅惇作 作曲 石井 敬!!
- ・26 保育実習
- ・27 違う世代との交流機会
- ・28 扇風機
- ・29 特大のものが設置されました
- ・30 自動ドア
- ・31 初めて来た時ビックリ!!
- ・32 歌声
- ・33 合唱コンクール前は響きわたる
- ・34 通学距離
- ・35 駅からの遠い道のりで鍛えられる!
- ・36 歴史
- ・37 1万人以上の卒業生を送り出した
- ・38 校則
- ・39 ちょうどいいです!!
- ・40 応援団
- ・「西翔の舞」のインパクト
- ・31 県立大見学
- ・32 行った良かった!
- ・33 男子が多い
- ・34 男子にとっては天国!!
- ・35 居心地がよい
- ・36 平和主義者が多いので...
- ・37 パソコンが新しい
- ・38 つい最近入れ替え
- ・39 海が近い
- ・40 時々潮の香りが...
- ・36 桜が綺麗
- ・37 誰が植えてくれたんだろ
- ・38 近所のエッグワッフルのお店
- ・39 帰りに食べる人が多数
- ・40 平和主義者が多いので...
- ・39 民主的な学校です
- ・40 生徒を信頼してくれます

西雲

本号では、秋田西高校創立四十周年に関連する特集を組んでいる。2、3面は西高誕生にまつわる裏話や1期生へのインタビューなどで構成した。これを読んで西高の歴史に思いを馳せ、「西高愛」を深めてほしい。1面では全校生徒を対象に実施したアンケートを基に、独自に「西高の自慢」をランキングしてみた。500人以上の回答と格闘しながらの集計作業だったが、寄せられた回答の中には、興味深いものがたくさんあった▼その中でも西高らしさが表れていると感じたのは、自慢として「生徒」を挙げる人が多かったことだ。生徒同士の仲が良いこと、優しい人が多いことを挙げる回答が、学年・性別を問わず多かった。他校のことは分からないが、これは西高の特徴と言っているのではないだろうか。今年も西高祭やスポーツ大会でクラスの絆が深まった▼西高は昭和五四年(一九七九)に開校した。同年の出来事には「ドラえもん」の放送開始、また高視聴率を記録した「3年B組金八先生 第一シリーズ」の放送などがある。ちなみに、本校の亀田先生は「金八先生」に感銘を受けて教師を志したそうだ。同じ年のヒット曲には、今年の西高祭で先生方が歌い踊った西城秀樹の「ヤングマン」や、サザンオールスターズ「いとこのエリー」、ゴダイゴの「銀河鉄道999」などがある▼この年の出来事や流行曲、映画、ドラマなどを調べてみると、今も色褪せることなく人々の記憶に残り続けているものが多いことに驚く。いつか何十年もたって大人になったとき、同じように私たちの心に残り続けるような思い出を、この西高で作ってみたい。(A&K)



6月19日、創立40周年を記念した航空写真の撮影が行われた。薄曇りの天気の下、全校生徒がグラウンドに集まり、「西高40」の人文字を作り、上空からドローンを使って撮影。40周年を記念して作られたタオルを使って、鮮やかな写真を撮ることができた。

40周年記念式典&記念講演

11月1日(金)の午後1時30分より、本校体育館で40周年記念式典が行われる。来賓、職員、生徒、保護者などが参加し、本校の発展に尽力してくださった方々への感謝状贈呈や、10年以上勤務された先生への表彰などが行われる予定だ。また、午後2時45分からは、本校の第19期生でフォトジャーナリストの高橋智史さんの講演が予定されている。世界を股にかけて活躍する高橋さんの講演が楽しみだ。

大学教授で映画研究者 門間 貴志さん(1期)
現在、明治学院大学文学部芸術学専攻教授として活躍している門間貴志さん。映画研究者としても活動しており、著書に「欧米映画にみる日本」、「朝鮮民主主義人民共和国映画史」建國から現在までの全記録」などがある。

カンボジアの実情を伝えるフォトジャーナリスト 高橋 智史さん(19期)
カンボジアを拠点に活躍するフォトジャーナリストの高橋智史さん。カンボジアでは、目覚ましい経済発展の陰で、政権によって弾圧される人々、自由や人権を求め闘う人々が存在する。その実情を伝えるために写真も撮り続ける。写真集「RESISTANCE」カンボジア「屈せざる人々の願い」が、今年の五月、「写真界の直木賞」と言われる「土門拳賞」を受賞した。11月1日の40周年記念式典の後に、高橋さんによる記念講演が行われることになっている。

活躍する卒業生

女優として活躍 藤本 喜久子さん(5期)
女優として活躍している藤本喜久子さん。ドラマ「中学生日記」の守山先生が当たり役だ。今回、本紙は藤本さんにお願ひしてメッセージをいただいた。

秋田西高等学校創立40周年おめでとうございませう。40年とは、いつのまにやらずいふんと歴史を積み重ねてきたわけですね。5期生の私に印象深かったのは、立派な大人になったということですね。感慨深いです。私もついぶん年齢を重ねました。多くの人がその時々を過ごし、そうした中で生まれた、それぞれの思いの積み重ねがあつて、いまがある。そしてこれからも。母校の輝かしい未来を今後も期待しております。

40年の節目に思いを馳せる 西高の歴史を紡いだ人々—私たちのルーツ—

潟上市藤原市長インタビュー

西高にかけた先人の思い



熱く語ってくださった藤原市長

現在の潟上市長、藤原一成氏は西高創立当時の旧天王町長、藤原慶三郎氏の親族にあたる。その縁もあり、西高誕生経緯や歴史をよく存じの藤原市長にインタビューした。

西高を誕生させた地域の強い願い
「当時の天王町長、藤原慶三郎さんは「町づくりは人づくり、人づくりは教育」という信念の持ち主でした。町をつくり上げる「人」は買うことができない。「人」を育てるのは教育だ、だから教育が最も大切なものだと考えていました。」

旧天王町に工業高校をつくりたい、と考えたのです。町長がリーダーとなって、高校をつくる運動が始まりました。当時、工業高校が欲しいと言ったのが、男鹿市、昭和町、天王町。三つの候補の中から、男鹿市が選ばれ、男鹿工業高校が出来ました。そして天王町には、秋田高校、秋田南高校・秋田北高校などと肩を並べる、進学を目指す高校をつくらうということになったのです。そのために、天王町に広大な土地が必要になりました。

「伝統が無い」のは大変だが楽しかった
1年生に入学した当時は、先輩がいなかったのも、もう自由気ままに高校生活を送っていました。創立当初、野球部などのメジャーな部活は初めからありましたが、そうでない競技は部活動がありませんでした。だから、自分たちで「顧問になつて、自分たちと先生方に頼んで、部を立ち上げていったんです。私は陸上部で、走り幅跳びをやりました。先輩がいなくて気ままだっ

松林に校舎がポツン
創立当時の西高は、グラウンドや体育館、セミナーハウスなどもまだ無くて、松林を切りひらいた所に校舎だけがポツンとある感じ。周辺にはほとんど何も無くて、「ここに本当に高校があるのか」というような感じでした。今近くにある、秋田県総合教育センターとかも無かつたです。

大志賀雅孝さん(56)
秋田市土崎出身、秋田市建設総務課長。本校の初代陸上部主将。最近の趣味は夫婦二人で旅行を楽しむこと。日曜二人ではまっている、木材を集めて自分の作業小屋を建てたいと思っている。土崎のお祭りはもちろん大好き。



雨の中力投する菅原史登さん(3A)

40周年記念招待試合 山形 宮城 東陵 名門両校と熱戦

5月28日、40周年記念招待試合が行われた。午前には県立体育館での男子バスケットボール。山形県の羽黒高校と対戦した。結果は97対74と、惜しくも負けを喫したものの、随所で好プレーを見せた。午後はさきかけ八橋球場に場所を移し、宮城県東陵高校野球部との試合を行った。あいにくの冷たい雨の中、試合を終えたばかりのバスケットボール部員を中心に、攻守が入れ替わるたびに両校のスタンドを行き来して両校を応援する生徒もいた。本校は善戦したものの、結果は12対1で敗戦。



始球式を務めた前生徒会長清水さん(3C)



全校生徒の前での懸命なプレー

生徒会新執行部発足
7月14日に行われた生徒会役員選挙で、新生徒会長に金野凛々華さん(2D)、副会長に佐藤七音さん(2D)、佐藤七音さん(2D)が選ばれた。金野さんは「西高を引っ張っていきけるように何事も全力で取り組むたいと思います」、副会長の佐藤七音さんは「名に恥じぬよう頑張りたい」、佐藤七音さんは「西高を盛り上げられるように頑張ります」と話してくれた。



左から七音さん、金野さん、一世君

1期生に会いたい!!
初代陸上部主将
大志賀雅孝さんインタビュー
「秋田西」に落ち着いたと聞いています。
旧天王町 藤原町長の思い
追分地区は、西高が出来た当時と比べると人口が倍になり、発展して人口が倍になりました。西高への思いはすこぶる強いものがあつたんです。
「学生服が紫色?」
西高に1期生として入学したのは、中学校の先生の指導です。「お前はこゝだべ」と



中央下、振り向いているのが大志賀さん

当時の夢は体育教師
自分自身も、部活に明け暮れた高校生活でした。当時土曜日も午前中は部活の練習ということが多いです。あんなにワクワクした目的を持っていたわけではなかったなあと感じます。でも楽しかったんですよ。
後輩達へ
青春を楽しんでください。今しかない時間を大切にしてください。私自身、今でも高校時代の友人と会えば、その当時に戻ったような気持ちになるんです。10代後半の記憶というのは特別です。そして一つ。進学するなどして秋田を出ていって、将来的には戻ってきて、秋田を支える人材になってほしいと思います。

西高生よ「夢を諦めるな」「多くの人と触れ合って」

多くの人の触れ合いが西高生の強みになる
西高は、これからますます地域に根ざした学校になっていくと思います。天王に高校が出来て、どんなにうれしかったことか。先を見通していた政治家だったと思います。
多くの人の触れ合いが西高生の強みになる
西高は、これからますます地域に根ざした学校になっていくと思います。天王に高校が出来て、どんなにうれしかったことか。先を見通していた政治家だったと思います。
多くの人の触れ合いが西高生の強みになる
西高は、これからますます地域に根ざした学校になっていくと思います。天王に高校が出来て、どんなにうれしかったことか。先を見通していた政治家だったと思います。

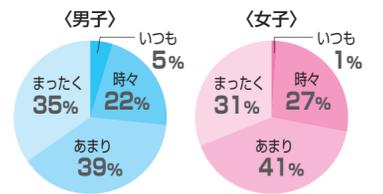
制服40年ほぼ変わらず マイナーチェンジのみ
◆平成23年 男子夏服
ワイシャツからポロシャツに変更された。
◆平成24年 女子冬服・夏服
ボウタイタイプのリボン(自分で結ぶもの)から成形タイプのリボンに変更された。
◆平成26年 女子夏服
リボンが大きくなり、現在の形に。
ブラウスが丸えりから四角くなった。
ブラウスが透けにくくなった。
ブラウスに校章が入った。
ブリーツが多くなり、よりスカートに見えるデザインに。
ポケットがスカートの内側から外側になって使いやすくなった。
現在のリボンになったのは5年前



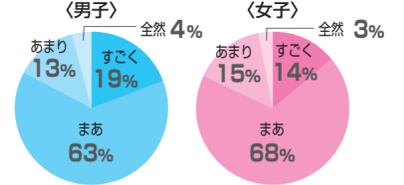
現在のリボンになったのは5年前

目上の人、他人に合わせるのは疲れる… みんな持ってる“人間関係”の悩み

Q1 友達と話している時疲れていると感じますか？



Q4 あなたは友達や家族、部活の中で自分の気持ちや意見をうまく伝えられていますか？



4人に1人が、友人との会話で疲れる

コミュニケーションマネジメントを実施

Q1「友達と話している時疲れると感じますか？」という質問に対して、「いつも感じる」「時々感じる」を合わせると男子で27%、女子で28%。4人に1人以上が、友人との会話に疲れることがあるという結果だった。

Q2で「どんな時に疲れると感じますか？」という質問に自由記述で答えてもらったところ「自分の知らない、関係に行つたルーマニア等で健康被害の報告はありませんでした。」

相手国の標的になるのではないかと不安ですが、そうした施設は全国に数多くあります。防衛力を高めることに相手国に対して抑止力を働かせるのが地上イージスの目的です。

防衛省報告書は一方的な調査報告書では、山の角度やレーダーの電磁波の強さについて誤りがありました。単純な転記ミスもありました。

世界情勢を見れば、日本の防衛力は強化する必要があります。北朝鮮は我が国を射撃に取める弾道ミサイルを多数保有しており、中国やロシアも軍備を強化しています。日本の防衛は日米安保により守られていますが、アメリカが自国第一主義に傾きつつあり、日本独自の防衛力強化の必要性は高まっています。

国に対しては、秋田への配備の必要性について納得いく説明を求め、配備候補地に

「一歩を踏み出す 勇気を持って！」

スクールカウンセラー 中野 薫先生

SNSの世界が現実に影響を与えている。SNSの世界で、現実の高校生生活と二つの世界を持っている。SNSの世界で、現実の高校生生活と二つの世界を持っている。SNSの世界で、現実の高校生生活と二つの世界を持っている。

「SNSの世界が現実に影響を与えている」と話す中野先生。SNSの世界で、現実の高校生生活と二つの世界を持っている。SNSの世界で、現実の高校生生活と二つの世界を持っている。

目上は「話しやすそう」な人からチャレンジして

西高生は友人とのコミュニケーションには思ったより困難を感じていないようです。その一方で先輩や先生など、目上の人とコミュニケーションを取るのが難しいと感じている人が多くいると結果がわかりました。目上の人と話しやすくなるコツはありますか？

まず最初は話しやすそうなお話を聞いてみる。先輩や先生など、目上の人と話しやすくなるコツはありますか？

話すときは相手と「自分」を観察しよう

人と関わりやすくなるための話し方はありますか？

話すときは、相手をよく見ること。心をかけてみる。楽しようにして話しかける。楽しように話しかける。楽しように話しかける。

自分からどう見えているのかを考えた方がいい

自分からどう見えているのかを考えた方がいい。自分からどう見えているのかを考えた方がいい。

Q3 友達との会話で多い話題は何ですか？

女子	合計 709 (複数回答)	その他 25人
趣味	205人	
勉強	126人	
悩み	122人	
部活	118人	
恋	113人	

男子	合計 408 (複数回答)	その他 24人
趣味	136人	
勉強	78人	
悩み	105人	
部活	105人	
恋	37人	

Q5 誰とのコミュニケーションが一番難しいと思いますか？

女子	合計 316 (複数回答)	先生 95人	先輩 91人	友達 66人	後輩 35人	親 29人
----	---------------	--------	--------	--------	--------	-------

男子	合計 220 (複数回答)	先生 98人	先輩 52人	友達 22人	後輩 23人	親 25人
----	---------------	--------	--------	--------	--------	-------

好きな人がいるのですが、自分に自信が持てなくてなかなかうまく話せません。どうしたらうまく話せますか？

好きな人がいるのですが、自分に自信が持てなくてなかなかうまく話せません。どうしたらうまく話せますか？

どう人間関係を築いていいかわからない。いつも周りにどう思われているか気にしています。人間が怖いんです。

どう人間関係を築いていいかわからない。いつも周りにどう思われているか気にしています。人間が怖いんです。

人間関係のお悩み相談室

全生徒から人間関係にまつわる悩みを投稿してもらい、SCの中野先生に答えていた。

「好きな人がいるのですが、自分に自信が持てなくてなかなかうまく話せません。どうしたらうまく話せますか？」

「どう人間関係を築いていいかわからない。いつも周りにどう思われているか気にしています。人間が怖いんです。」

「好きな人がいるのですが、自分に自信が持てなくてなかなかうまく話せません。どうしたらうまく話せますか？」

「どう人間関係を築いていいかわからない。いつも周りにどう思われているか気にしています。人間が怖いんです。」



秋田県議会議員で、自民党秋田県連政務調査会長の北林丈正さんにお話をうかがった。

「イージス」には賛成「新屋配備」は慎重に

「イージス」には賛成「新屋配備」は慎重に。イージス自体の是非は分けて議論すべきです。私はイージスそのものの必要性は理解しますが、新屋への配備については疑問があります。住宅や学校が近く近くにある新屋に配備することには疑問があります。

再調査と納得いく説明を求めていく

再調査と納得いく説明を求めていく。防衛省報告書は、山の角度やレーダーの電磁波の強さについて誤りがありました。単純な転記ミスもありました。

「なぜ必要？」に明確に答えられる人はいない

「なぜ必要？」に明確に答えられる人はいない。イージスが必要、と考える人たちの理由は、「国が言っていることだから聞こう」と考える人が多かった。

取材を終えて

取材を終えて。この問題の解決はとても難しいと思った。取材をして、国や県も理解できるところがあった。ただ新屋に設置することには反対だ。実際に演習場付近に行ってみたら、想像以上に学校や住宅地に近い印象を受けた。こんなにも日常の生活が営まれている場所の近くには設置してほしくないのではないかと思った。

憲法と聖書を掲げ所を

憲法と聖書を掲げ所を。私は「平和であってほしい」という考えがまず根本にある。イージスアショアに限らず平和を損なうものには反対しています。

土崎空襲の悲劇を繰り返さない

土崎空襲の悲劇を繰り返さない。第二次大戦の土崎空襲は、石油の工場があったから狙われたのです。土崎の記憶を受け継いでほしい。秋田の人々が、どうして黙っているのか。力でもめことを解決しません。外交努力、話し合いによって問題を解決することを訴えたいと思います。



ルーマニアで取材をされた石塚さん

国民は政府がやろうとすることをしっかり見ていくことが大切

国民は政府がやろうとすることをしっかり見ていくことが大切。国民は政府がやろうとすることをしっかり見ていくことが大切。

「イージス」はギリシャ神話に登場する「盾」

「イージス」はギリシャ神話に登場する「盾」。アショアは「陸上の」という意味。ミサイル防衛システムのこと、外国から飛んできたミサイルを宇宙空間で撃ち落とすためのレーダーや迎撃ミサイルを地上の建物に設置するものだ。これらは「イージス」呼ばれる艦艇が主に海上でミサイル防衛を担っていたが、それを陸上に置くのがイージス・アショア。秋田と山形の二か所が候補地になっている。外国では既にルーマニアに設置されている他、ポーランドでも建設が進められている。

この問題の行方は？

この問題の行方は？。政府の決定が覆ったケースというのは、ほとんど無い。でも今回がその最初の例になることもありえます。イージス自体の是非は別として、新屋という一般市民が生活している場への設置は危険である。おかしいと考えられています。私たち国民が、政府がやろうとしていることをしっかりと見て考えていくことが大切です。

何よりも「平和」を

何よりも「平和」を。秋田桜教会教師 雲然 俊美さん。私は「平和であってほしい」という考えがまず根本にある。イージスアショアに限らず平和を損なうものには反対しています。

「なぜ必要？」に明確に答えられる人はいない

「なぜ必要？」に明確に答えられる人はいない。イージスが必要、と考える人たちの理由は、「国が言っていることだから聞こう」と考える人が多かった。

土崎空襲の悲劇を繰り返さない

土崎空襲の悲劇を繰り返さない。第二次大戦の土崎空襲は、石油の工場があったから狙われたのです。土崎の記憶を受け継いでほしい。秋田の人々が、どうして黙っているのか。力でもめことを解決しません。外交努力、話し合いによって問題を解決することを訴えたいと思います。

スポーツ大会 3年生の圧勝 MVP

総合成績 1位 3C 2位 3B 3位 3A

六月に行われた全県総体の個人戦で、女子ソフトテニス部の星野司苑さん(3D)と金沢ももさん(3B)が優勝した。七月三十日に宮崎県宮崎市で行われたインターハイに出場した二人は、初戦で神奈川県の大相模高校と対戦し、0-4で敗れた。星野さんは「思うようなプレーはできなかったが、レベルの高い試合を見て、自分の課題を見つけられることができた」、金沢さんは「自分の力を出すことが出来なくて残念だった。この経験を生かしてこれからも頑張りたい」と話している。二人とも、これからもソフトテニ



金沢ももさん(左)と星野司苑さん

4月からペア組み全県制覇

スを続ける予定。今回の悔しさをバネに頑張っしてほしい。

★男子バスケットボール
伊藤 駿さん(3A)
Q 試合中に心がけたことは?
A 声を出して盛り上げて静まらないこと。
Q 勝因は?
A チームワーク!

★女子バスケットボール
小嶋 結衣さん(3D)
Q 優勝した時の気持ちは?
A 去年、決勝で負けていたのでうれしかったです。
Q 勝因は?
A 仲間の最後のスリーポイントシュートと声かけ。

★男子バレーボール
佐藤 心星さん(3E)
Q 優勝した時の気持ちは?
A 優勝を目指していたのでうれしかったです。
Q 勝因は?
A チームワークと楽しんだこと。

★女子バレーボール
石郷岡花帆さん(3C)
Q 勝因は?
A チームワークと応援の力。
Q 試合中に心がけたことは?
A 常にニヤニヤしていること。

★サッカー
貝田虎太郎さん(3B)
Q 優勝した時の気持ちは?
A 延長までいって勝つたので、よかったです。
Q 決勝ゴールを決めた気持ちはどうでしたか?
A 最後に決められてよかったです。

吹奏楽部
スペシャルサックス
コンサートを開催
九月二十三日、午後6時から秋田市北部市民サービスセンター(KITASKA)地域文化ホールにおいて、本校吹奏楽部による「Special

★ドッジボール
星野 伶苑さん(3B)
Q 優勝した時の気持ちは?
A 信じられなかった。
Q 勝因は?
A 最後まで諦めなかったこと。

★バドミントン
保坂教頭先生(職員チーム)
Q 優勝した時の気持ちは?
A ヤッター! まだまだ高校生には負けない。
Q 試合中に心がけたことは?
A 負けそうになっても平常心で頑張ること。

「Thanks Concert」が行われた。「アラジンメドレー」や「もののけ姫」などのほか、3年生が合唱を披露する「Story」など様々なジャンルの曲を演奏した。吹奏楽部部長の小坂泰輝さん(2B)は、「3年生とともに最後のコンサートと

全国の新聞部員から学んだ

2D 木村敬太郎
今までは自分アンケートをまとめるなどして記事を書くことが多かったのですが、外部の方へのインタビューは緊張しました。また私の班の中には、部活として新聞を月に一回作っている人たちもいて、彼ら



緊張気味の木村(右端)

広報出版委員 全国大会奮闘記

7月29日から31日まで佐賀県で行われた全国高総文祭に参加し、全国の仲間と新聞作りをしました。

とても貴重な経験
2E 岸部 有菜
様々なコースに分かれて取材をして、自分達で原稿

を見てみると、とても手際が良く、経験の差を感じました。ですが、そのおかげで彼らからさまざまなことを学ぶことができました。

他の学校の新聞づくりの技術や知識が豊富で、圧倒されました。今回、他の学校の新聞を見たり一緒に制作してみたり、これからの新聞制作に生かせることを学ぶことができました。このような大会には参加する機会がなかなか無いと思うので、とても貴重な経験になりました。



他県の高校生と協力して新聞をつくる岸部

高校時代の思い出

Vol.17

佐藤 和実 校長先生

Q 高校時代の一番の思い出は何ですか?
A 高校3年生の時の文化祭で「クイズ100人」に聞きまじったというテレビ番組の企画をクラス展示でやったことです。テレビのセットを再現したり、たくさんの人にインタビューをしたりと、夜遅くまで準備をしましたね。私は司会を

担当しました。ちなみに、他のクラスのクイズの企画に友人と一緒に解答者として参加して優勝もしました。
Q 高校時代の失敗や後悔はありますか?
A 将来、気象台で働きたかったんですけど。理科の成績はよかったのですが、数学の苦手分野がどうしても分からなかったんです。高校時代は天文学に興味を持っていて、天文部に入っていたり、夜友人と星を覗いていたりもしていました。でも英語の教員になったことは後悔していませんよ。
Q どんな生徒でしたか?
A 手がかからない生徒だったと思います。何かに興味を引かれると一直線にそれに向かっていって、ガリガリ勉強する所よりは、自由好きなことを好き

は、自由に好きなことを好きにだけやる所に行った方がよい」と言われたのを覚えています。
Q 高校時代の恋愛について教えてください!
A 修学旅行の時、大阪万博を女の子と二人で散歩しました(自分からアタック!)。大学が別々になっってしまったが、しばらくは年賀状のやりとりはありましたね。
Q 受験を控える3年生に一言アドバイスください。
A 次の進路に行った時に「ここは何か違うな」と思っても、高校時代に本當に一生懸命努力したと思えば、納得できるはずですよ。第一志望に合格できるかは別として、後悔の無いように納得いくまでがんばってほしいと思います。

小野さん(秋田市金足)より 書道手本の寄贈

この度秋田市金足在住の小野祐子さん(88)より、本校の書道部へ本を寄贈していただいた。
小野さんは終戦後北朝鮮から引き揚げてきた。定時制高校で苦学の上、大学に進学して小学校の先生になり、三十一年間、立派に勤め上げられた。書道は趣味として続けてこられたそう。新聞で本校書道部員の展示会入賞を知り、使わなくなったお手本を高校の活動で生かしてほしいと、連絡をくださった。



書道部長の保坂愛結さん(2B)は「これを使って練習に励みます」と話している。

編集後記

今回の取材で学校のことをより知ることが出来た。
I-JISアジアについて詳しく知ることができました。
新聞を書くのは大変だったけれど、大変な作業でしたが、無事完成させることができました。
初めて新聞を作ったけれど楽しかった。
校長先生にインタビューをして張りまりました!
調査に追われる中、締切を守れたので良かったです。
アンケート結果が意外でも面白いと思いました。
取材で貴重な話が聴けたためにアンケート集計・分析で夜遅くまで残り、大変だった!
OGの藤本さんの事務所に電話をして、記事を作れた。
昔の新聞から情報を探して記事にまとめられました。
取材はなかなか簡単ではなかったが頑張りました。
カリカリ九州みかん味。週2のペースで食べています。
苦労したが、生徒の声を聴くことにやりがいを感じた。
記念すべき年に新聞制作に携わることができた。
初めてだったけれど上手にいったよかったです。
自分の得意分野で力を発揮できてよかった。
市長への取材記事から、西高の歴史を感じています。
潟上市長から西高のお話が聴けておもしろかったです。